

①申請用

肝炎治療受給者証(3剤併用療法を除くインターフェロン治療)の交付申請に係る診断書(2回目の制度利用)

医療機関名 \_\_\_\_\_ 病院・医院

\_\_\_\_\_ 科 \_\_\_\_\_ 先生

下記患者について報告申し上げます。

フリガナ		性別	生年月日(年齢)		
患者氏名		男・女	明昭 大平	年	月 日生(満歳)
住所	郵便番号 _____ 電話番号 _____ ( )				
受診の契機	1 住民検診から      2 県職場出勤検査から      3 保健福祉事務所検査から 4 人間ドックから      5 医療機関無料検査から      6 その他( )				
診断年月	年 月	前医 (あれば記載する)	医療機関名 医師名		
過去の治療歴 (該当する項目にチェックする。)	<p>1. B型慢性活動性肝炎の場合</p> <input type="checkbox"/> これまでにペグインターフェロン製剤による治療を受けていない。 <p>2. C型慢性肝炎またはC型代償性肝硬変の場合</p> <p>(1)過去のペグインターフェロン及びリバビリン併用療法の治療歴</p> <input type="checkbox"/> 以下の①、②のいずれにも該当しない。 <p>①これまでの治療において、十分量のペグインターフェロン及びリバビリン併用療法の48週投与を行ったが、36週目までにHCV-RNAが陰性化しなかったケース</p> <p>②これまでの治療において、ペグインターフェロン及びリバビリン併用療法による72週投与が行われたケース</p> <p>(2)過去の3剤併用療法の治療歴</p> <input type="checkbox"/> 3剤併用療法(ペグインターフェロン、リバビリン及びプロテアーゼ阻害剤)の治療歴なし。 <input type="checkbox"/> 3剤併用療法を受けたことがあるが、十分量の24週投与が行われなかった。 ※具体的な経過・理由を必ず記載ください。 <p>(3)インターフェロンフリー治療歴</p> <input type="checkbox"/> インターフェロンフリー治療歴あり。(薬剤名: ) <input type="checkbox"/> 直前の抗ウイルス治療がインターフェロンフリー治療である。				
検査所見 (今回の治療開始前の所見を記入する)	<p>1. B型肝炎ウイルスマーカー</p> <p>(1) HBs抗原 (+/-) (検査日: 年 月 日)</p> <p>(2) HBe抗原 (+/-) HBe抗体 (+/-) (検査日: 年 月 日)</p> <p>(3) HBV-DNA定量 _____ (単位: 、測定法 ) (検査日: 年 月 日)</p> <p>2. C型肝炎ウイルスマーカー (検査日: 年 月 日)</p> <p>(1) HCV-RNA定量 _____ (単位: 、測定法 ) ・検出せず</p> <p>(2) HCVコア蛋白定量 _____ foml/l</p> <p>(3) ウイルス型 セロタイプ(グループ)1・セロタイプ(グループ)2 (該当する方を○で囲む) ジェノタイプ(保険適応外) 1b・2a・2b その他 (該当する方を○で囲む)</p> <p>3. 血液検査 (検査日: 年 月 日)</p> <p>AST _____ IU/l (施設の基準値: ~ )</p> <p>ALT _____ IU/l (施設の基準値: ~ )</p> <p>ヘモグロビン _____ g/dl</p> <p>血小板数 _____ × 10<sup>4</sup> / μl</p> <p>白血球数 _____ / μl (好中球数 _____ / μl)</p> <p>4. 画像診断及び肝生検などの所見(具体的に記載)</p> <p>肝生検 あり・なし ありの場合: 診断 A _____ F _____ (検査日: 年 月 日)</p> <p>画像診断 あり・なし ありの場合: 腹部超音波・CT・MRI・その他( ) (検査日: 年 月 日) 所見( )</p>				
診断 (該当番号を○で囲む)	<p>1. 慢性肝炎 (B型肝炎ウイルスによる)</p> <p>2. 慢性肝炎 (C型肝炎ウイルスによる)</p> <p>3. 代償性肝硬変 (C型肝炎ウイルスによる)</p>				
肝がんの合併	1. あり (治療中・治癒後)      2. なし				

患者氏名 \_\_\_\_\_ 性別：男・女 生年月日：\_\_\_\_年\_\_月\_\_日  
 (※A4版で使用される場合は上記氏名・性別・生年月日をご記入ください。)

身体所見	身長( . )cm 体重( . )kg			
治療内容 (該当番号を○で囲む。 B型慢性活動性肝炎の場合は3のみが対象)	1. インターフェロンα製剤 ( 1回 MIU, 週 回) 在宅自己注射 あり・なし 2. インターフェロンβ製剤 ( 1回 MIU, 週 回) 3. ペグインターフェロン製剤 ( ペグイントロン ・ ペガシス ) ( μg/回 ) 4. リバビリン製剤 ( mg/日 ) 5. その他 (具体的に記載してください。 )  治療予定期間 週 ( 年 月 ~ )			
治療開始前 併存疾患 (該当する方を○で囲む。 「あり」の場合は、必要事項を記載する)	1. 糖尿病	なし	あり HbA1c _____ % ( 年 月 ) 治療薬 _____	未検査
	2. 高血圧	なし	あり 治療薬 _____	未検査
	3. 腎機能	BUN クレアチニン	mg/dl mg/dl ( 年 月 )	未検査
	4. うつ又はうつ傾向	なし	あり 治療薬 : _____	未検査
	5. 甲状腺機能異常	なし	あり 診断名 : _____ 治療薬 : _____	未検査
	6. 自己免疫疾患	なし	あり 診断名 _____ 治療薬 _____ 検査: RA +・- 抗核抗体 +・- その他の抗体( ) +・-	未検査
	7. 眼底検査	異常 なし・あり		未検査
	8. 皮膚症状	なし	あり 診断 : _____	未検査
治療上の問題点				
副作用等の 連携医療機関	※当初から副作用の検査等のため連携する医療機関がある場合、該当番号に○をつけてください。また申請者へ、紹介した医療機関名を申請書へ記入するようご指導ください。 1. 眼科 2. 皮膚科 3. 精神科 4. その他( )			
医療機関名 (治療導入医療機関)	記載年月日 年 月 日			
所在地				
電話番号				
(直前の抗ウイルス治療がインターフェロンフリー治療の場合はチェックが必要) <input type="checkbox"/> 日本肝臓学会肝臓専門医 <input type="checkbox"/> 日本消化器病学会消化器専門医 <input type="checkbox"/> 診断書を作成できる医師として佐賀県の認定を受けた者				
医師氏名		印		

(注)

1. 診断書の有効期間は、記載日から起算して3か月以内です。
2. HBs抗原、HBe抗原、HBe抗体以外の検査所見は、記載日前6か月以内(ただし、インターフェロン治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載してください。
3. 記入漏れのある場合は認定できないことがあるので、ご注意ください。